

Hey Siri！私の未来は？

岐阜市立青山中学校 3年

藤岡 あおい

Hey Siri!私、今すごく緊張してる。緊張しない方法教えて!そう尋ねたらきっとSiriさんは完璧な答えを教えてくれるでしょうね。だから私は、AIのある未来はとっても楽しみ——とは正直思えません。今日はその理由をお話しさせてください。

私は小さい頃からずっと将来の夢をもってきました。アイスクリーム屋さん、幼稚園の先生、お医者さん。夢はよく変わったけれど「なりたいものがない」と思ったことは一度もありませんでした。中学3年生の今、私の夢はホテルになることでした。ホテルとは、ホテルで働く人たちのこと。フロント、清掃、レストラン、宴会場などお客様の滞在を支える、見えないところでたくさんの仕事をしている方々です。私は彼らの、英語でスラスラ会話し、礼儀正しく、いつも笑顔。そんな姿に憧れました。だから進路相談では迷わず、「私はホテルになりたい。」と先生に伝えました。ですがある日、インターネットでこんな記事を見つけました。「ホテルは将来AIに取って代わられる職業である。」この文を読んだ瞬間、心にぽっかり穴が空いたような気がしました。私は、先生にも友達にも「私のなりたいもの、10年後なくなっちゃうんだって。」と笑って話していました。けれども今思えば、それは強がりだったんだと思います。私の将来の夢がAIに奪われてしまう。そんな感覚になりました。

たしかにAIは、私たちが何年もかけて努力してきたことをまるで魔法のようにやってのけます。私が英語を一生懸命勉強している間に、AIは何十ヶ国語もマスターしてしまう。私が鏡の前で笑顔の練習をしているとき、AIは完璧な接客用スマイルをプログラム通りに再現してしまう。

だけど、そのスマイルに「心」はありますか。その言葉に「私だけに向けられた気づかい」はあるのでしょうか。私がホテルで「お手洗いは？」と尋ねたとき、ホテルは場所を教えてくれただけでなく「段差にご注意ください。」と付け加えてくれました。私はその一言に感動しました。たった数秒で私という“一人の人間”を大切にしてくれていると感じたのです。

私は思い出しました。「私はだれかに感動を届けられる存在になりたかったんだ。」と。私が叶えたいと思った、本質的な夢に気づくことができたのです。

正直、今はまだ私の将来の夢ははっきりとは分かりません。ですが、この経験を通して私は「AIがどれだけ進化しようと、私の『想い』は変わらない」と確信しました。そしてそれはきっと私だけに限ったことではないはず。皆さんの心の中にも、AIには奪えない大切な「想い」や「願い」があるのではないのでしょうか。私にとってのホテルのように、もしこれから皆さんの夢がAIによって揺らいだとしたら、その根っこにある「本当に大切にしたい自分の想い」を見つめ直してみてください。それが、あなたの“変わらない夢”だと私は思います。

では最後に、未来のホテルと一緒に想像してみましょう。ホテルに到着し、扉が開くとそこにはAIロボットがいます。そのAIロボットの隣にはなんと、私があります。もしそんな未来が現実になったら、みなさん私にたくさん話しかけてくださいね!AIには分からないお得な情報や地元でのイベント、世間話などたくさんお話して、みなさんを笑顔にさせてみせます。時代がどれだけ変化しようと私の想いは変わらない。

だから、Hey Siri!私の活躍みててよね!